

浅井町ふれあいたより



12月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 令和2年12月1日
発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

日々の積み重ねが生きる力に 一宮市立浅井北小学校 校長 太田 暢子

10月8日に1～4年生は校外学習を予定していましたが、残念ながら雨天により中止となりました。しかしながら各学年で「交流を通し、互いの良さを知り認め合う」というねらいのもと、学年で計画をした交流活動を行い、子どもたちは楽しいひとときを過ごすことができました。

5年生は8・9日に野外教育活動を実施しました。当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策と台風14号の接近による天候悪化という状況の中でしたが、子どもたちは天候により計画が変更になっても「燃やせ 友情の炎、輝け 僕らの笑顔」というめあてに立ち返り、落ち着いた態度で今できることに集中して取り組みました。また、食事時には時間に制限のある中、手洗い、消毒をきちんと行い、挨拶をして静かに会食をする姿に本当に感心しました。



一方、レクリエーションやキャンプファイヤーでは全身で感情を表し、それぞれの係の役目も臨機応変に工夫しながら伸び伸びと楽しんでいました。

6年生は21・22日に修学旅行に出かけました。「ちぢめよう 心のきより 輝かそう 仲間とのきづな」という合言葉のもと、ソーシャルディスタンスを守り他の観光客にも配慮しながら、熱心に見聞を深める姿が印象的でした。また、小学校生活の思い出の一場面として、みんなが楽しく充実した時間になるよう、互いを気遣う姿に心を打たれました。



平生往生という言葉がありますが、こうした子どもたちの姿は、まさに日頃学校で行っていることの積み重ねが形として現れたものでした。どこへ行っても、大切にすべきことを忘れず、いつも通りに行えることは、自分のみならず他者をも幸せにし、また、生きる力につながると感じました。学校の教育活動をご理解いただき、送り出してくださいましたご家庭の皆様にご感謝申し上げます。そして、地域の皆様にも、子どもたちが学校外でもこうした行動ができますよう、今後も温かなご支援ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

消防団浅井分団の活動

消防団浅井分団は地域の防火、防災活動に日夜浅井町内をパトロールしています。また町内の保育園、幼稚園にて「ちびっこ消防団」というイベントを定期的に行い、子どもたちに消防活動のPRを行っています。現在、消防団員を募集中ですが、地域の安全、安心を守るという大役を担って、日々訓練に頑張っています。是非応援を！



ミサンガを作ろう

10月24日(土)浅井児童館で「ミサンガ作り教室」がありました。午前10時と午前11時の2回開催され、各回10名の児童が参加しました。ミサンガを作る前にたくさんある色系の中から3色選びます。白＝健康。黄＝元気、平和。紫＝才能、思いやり。黒＝魔除け。オレンジ＝力強さ。ピンク＝モテたい。茶色は家族など、糸の色にもそれぞれ意味があり、子どもたちは意味と配色を考えながら選んでいました。まず始めは三つ編みをして途中、輪編みをして、そして再度三つ編みをして結びます。願いをこめて編んでいくようにと先生が話されると、みんな黙々と手を動かしていました。1時間程で色とりどりのきれいなミサンガが完成し、先生に完成したミサンガを足に付けてもらうとうれしそうに見せてくれる子がたくさんいました。願い事や叶えたい事をこめて編んだミサンガは自然に切れると願い事が叶うといわれています。子どもたちの願い事が1つでも多く叶いますように…。



防犯パトボランティア反省会の開催



9月17日(木)午後1時30分から浅井公民館2階大会議室で「浅井防犯パトロール隊ボランティア反省会」が開催されました。役員も含めて17名が集まり、防犯パトに参加しての感想、要望、意見を3つのグループに別れて、発表しあいました。短い時間ではありましたが、それぞれの隊員が日ごろ感じている課題、問題、要望等を集約し、今後の活動方針に取り入れるための反省会です。

現在この防犯パトのボランティアを追加募集しています。是非あなたもご参加下さい。

江森町内「見守り隊」の活動

10月30日(金)交通事故死「0」の日、江森町内で児童の登校を見守る活動が行われました。江森町内では「0」の日をはじめ毎月町内会・小学校の役員および有志の方々により交通安全街頭監視活動が行われています。写真の場所は一宮市北部学校給食センターの近くで、幹線道路ではないものの業務用トラックや乗用車が頻りに往来します。

他にも何か所かで子ども達の安全、安心を地域の有志が見守っています。車に乗る皆さんも子ども達を見かけたら安全運転に心がけてください。



浅井町の文化財・史跡紹介(5)「森 林平邸」



今からおよそ200年前の文化11年(1814年)に建築された、江戸時代末期の建築様式を備えた豪壮なものです。母屋は百姓家作りで、現在も当時の面影を残しています。森家は、初代、森林平氏が宝永6年(1709年)に、医療をはじめ、その後、浅井万金膏を作り始めました。明治の頃これを力士が治療に使用し大ヒットしたそうです。現在この製品はすでに製造を終えています。



また、敷地内のお堂には、鎌倉末期から室町時代の初期に作られた、長くて美しい眉、伏し目の玉眼や引き締まった頬と下顎の木造薬師如来坐像があります。